学校番号	1010

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学(実習)	単位数	2(1)単位	年次	１年次
使用教科書	新・情報の科学　（日本文教出版）						
副教材等	校内作成教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

主にコンピュータを利用した実習の授業です。これからの情報社会で生きていく上で必要となる情報機器の扱い方について、メディアの活用やインターネットへの適切な利用について、問題解決のために適切にコンピュータを活用することなどを学びます。

２　学習の到達目標

・情報社会を支える情報技術の役割や影響の理解
・情報と情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための科学的な考え方の習得

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報や情報社会に強く関心をもつこと ・自ら進んで情報及び情報技術を活用すること ・社会の情報化の進展に主体的に対応しようとすること	・情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方をする力 ・情報モラルを踏まえて思考を深め、適切に判断し表現する力	・情報及び情報技術を活用するための基本的な技能を身に付け、目標に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている	・情報及び情報技術を活用するための基本的な知識と理解 ・社会における情報及び情報技術の意義や役割の理解
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート・発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 課題制作 発表 実技テスト 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 小テスト 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	問題の解決と処理手順の自動化	○基本的なアルゴリズムとプログラム ○いろいろなアルゴリズム	○ ○	 ○	○	○ ○	a:アルゴリズムやフローチャート・プログラミングに興味をもち学習に積極的に取り組もうとしている。 b:試行錯誤しながらフローチャートが作成できる。またそれが正しいかどうか確かめられる。 c:基本的なフローチャートからプログラムが作成できる。 d:フローチャートの表現やアルゴリズムの構造を理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 定期テスト 等
二学期	モデル化と問題解決	○モデル化とシミュレーション ○情報の蓄積・管理とデータベースのしくみ	○ ○	○	 ○	○ ○	a:具体的な現象についてのモデル化やシミュレーションに興味を持って学習に積極的に取り組もうとしている。 b:縮小モデルや数理モデルで実物や現象をモデル化して表現できる。 c:データを収集しコンピュータを利用したデータベースでそのデータを扱うことができる。 d:モデル化・シミュレーション・データベースの概念や役割を理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 定期テスト 等
三学期	情報通信ネットワークと問題解決	○グループで行う問題解決 ○グループによる問題解決型学習の実践	○ ○	 ○	 ○	○	a:検索エンジンを利用して必要な情報を探し出そうとしたり、発想メソッドを利用したグループワークに積極的に取り組もうとしている。 b:情報の信憑性を判断したり、グループで情報を共有するために適切な方法を考えることができる。 c:問題解決のために情報の収集・分析をして情報機器を適切に活用することができる。 d:問題解決のために、適切な情報機器を選択し利用する方法を理解している。グループで効率的に問題解決をする方法について理解している。	授業観察 ワークシート 実習課題 発表 等

※生徒の興味関心や取り組み状況により，順序と内容について一部変更を加えることがある。

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解